

街並みテクテク No. 13：松戸駅～金町駅（2024-4-21）

参加者：碓貴臣、佐熊範和、染谷ミドリ、高野泰三郎、黛政男、山岸任、木村芳一（敬称略；計7名）

行程：松戸駅～金町駅 約8km

松戸駅→戸定邸・戸定歴史館→浅間神社→矢切神社→野菊の墓文学碑→矢切の渡し→山本亭→柴又帝釈天→金町駅

・曇っていましたが、さわやかな春を感じる微風が吹く中、二つの邸宅と庭園、江戸川河川敷、柴又界隈を歩きました。

・戸定邸は、徳川慶喜の弟で、最後の水戸藩主である徳川昭武が明治時代に別邸として建設した木造平屋、一部2階建の建物です。また戸定邸の敷地内には徳川昭武、徳川慶喜の資料を展示する戸定歴史館が設けられていました。戸定邸の客間からは、きれいに整備された芝生と江戸川方面の遠景が眺められました。

・江戸時代初期に江戸川を越える農民のために造られた、千葉の矢切と対岸の東京の柴又を結ぶ矢切の渡しでは、以前訪れたときは手漕ぎでしたが、今回はモータ駆動である船に乗って、のどかな川面と兩岸の景観を楽しみました。

・山本亭はカメラ部品の製造で財をなした山本栄之助氏の居宅で、素晴らしい近代和風建築と書院庭園の調和が特徴です。

・柴又帝釈天は、寅さん人気のせいか、相変わらず人が多く、参道にある店に多くの客が入っていました。

（木村芳一）



松戸駅前にて



戸定邸の入口



戸定邸の客間と庭園



矢切の渡しの矢切側乗り場



柴又側から見た江戸川河川敷



山本亭



見事な松を前面に設けた柴又帝釈天本堂